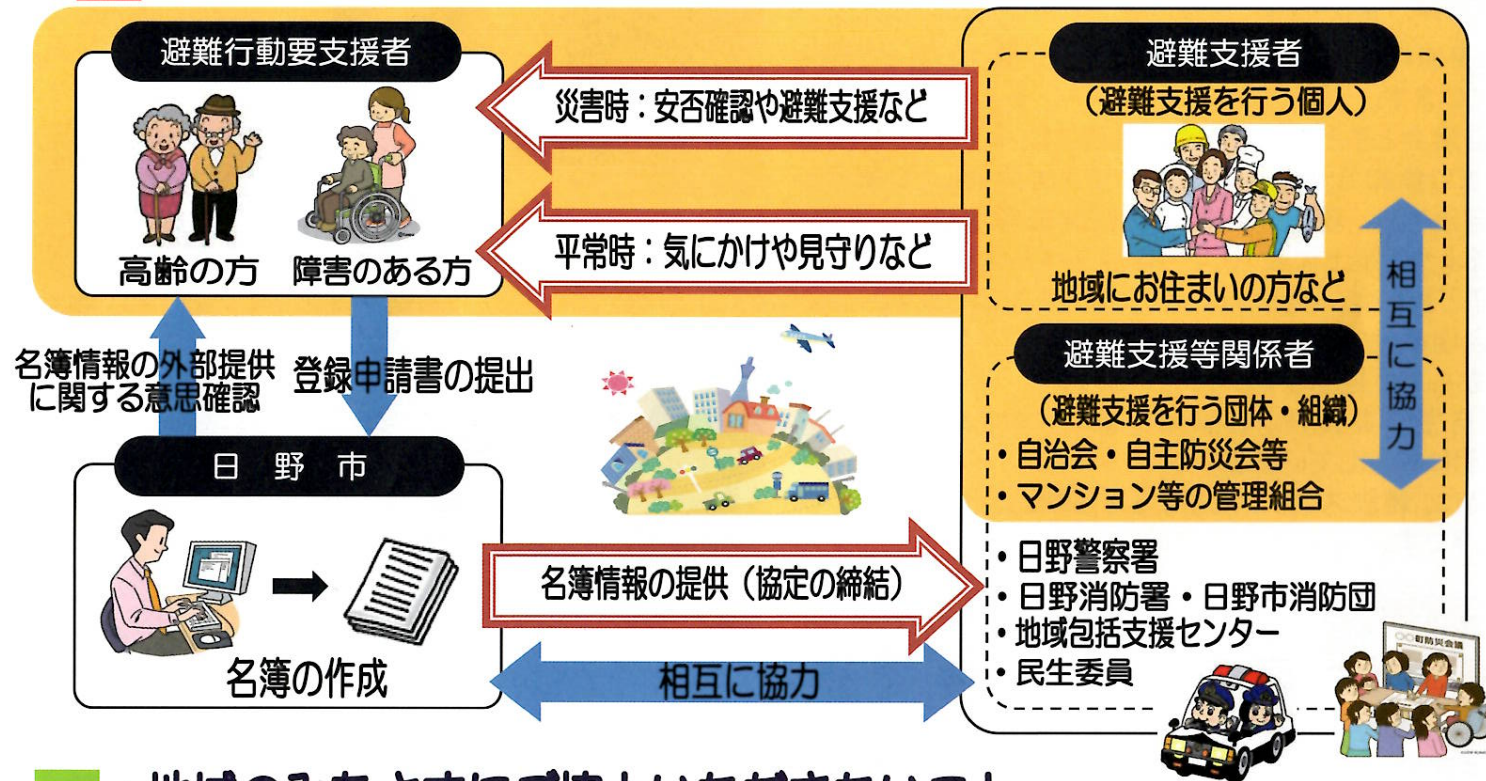


地域の防災活動にご協力をお願いします

地域のみなさまへ

高齢者や障害者など『災害時に助けてほしい!』と自ら意思表示をした人たちがいます。日野市では、そのような人たちの名簿（避難行動要支援者名簿）を作成し、自治会や自主防災会などの地域に提供し、地域で「見守り」「助け合う」体制づくりを進めているところです。今後もより多くの地域に名簿を提供し、地域主体の防災活動の取組みを広げていきたいと考えています。災害などのいざという時に、地域全体で助け合うことのできるまちづくりを市と一緒に進めていきましょう!

避難支援の流れ（制度の概要）



地域のみなさまにご協力いただきたいこと

- ①市が提供する名簿の受取りをお願いします。
※制度の概要や名簿の受取り方法などは、下記の間合せ先にご相談ください。
※必要に応じて個別に説明に伺います。
- ②名簿を活用した地域の避難行動要支援者の「見守り」をお願いします。（平常時）
- ③名簿を活用した避難行動要支援者の避難支援や安否確認をお願いします。（災害時）
※名簿を活用して行う具体的な取組内容については、下記の間合せ先にご相談ください。

■ 問合せ先 電話：042-585-1111（代表）

日野市 総務部	防災安全課	内線7745・7746
健康福祉部	高齢福祉課	内線2422・2423
健康福祉部	障害福祉課	内線2321・2322



H28年 通算第19号
 ■発行日/平成 28年 5月
 ■発行・編集/日野市企画部地域協働課
 〒191-0011 日野市日野本町 1-6-2
 ■電話/042-581-4112

地域がつながるフリーペーパー

「地域かわら版」は、市内八中学校区ごとに、地域の活動を紹介する地域情報誌です。「こういう活動をしている人がいるんだ」と知ること、「今度行ってみようかな」と参加すること、「自分も何か活動してみようかな」と行動することのきっかけになれば幸いです。

特集

- 1 Uターンして気づいた日野の魅力～人と物が集まる店「こぶらす Co+」～
- 2 豊田団地自治会～ふれあいづくりのしくみづくり～

アクションプラン実行委員会

地域懇談会では、これまで地域の課題を地域の人々で解決するためのアイデア「アクションプラン」を、地域の人々で考えてきました。

四中地区のアクションプランは、「ラジオ体操で四中地区がつながる!!」です。

夏休み中の子どものラジオ体操を四中地区全体で取り組むことで、若い世代と高齢者世代、昔からの住民と新しく来た住民とが、楽しく気軽につながるきっかけを作ろうとするものです。

このプランを具体的に実行に移すため、平成 28年 4月 4日に第1回実行委員会を開催しました。自治会、PTA、育成会、商店会など、有志の方が合計 22名集まり、それぞれの立場から活発にざっばらんに意見を出しました。

広く地域の人たちを巻き込んでいくにはどうしたらいいのか、初めから完璧なもの＝ゴールを目指すのではなく、今後の可能性を視野に入れ、初めの小さな1歩目＝スタートのつもりで行おう、無理せず参加できる範囲で楽しく行おう、大切なことは地域への愛着を育むこと、皆さまそれぞれの思いを共有できる会になりました。

アクションプランの実行は、7月25日～31日、8月22日～28日の朝、四中地区の公園等で実施する予定です。皆さま是非一緒に四中地区を楽しんでいましょう!!



平成 27 年 10 月、JR豊田駅北口に PlanT(日野市多摩平の森産業連携センター)がオープンしました。

ここでは、市民や企業、大学、創業を目指す方など、さまざまな主体が「しごと」をテーマに課題・アイデアを共有することで、未来に向けた新たな事業や産業の創出を図るための施設です。

今回は、日野市創業セミナーの卒業生で、PlanTの一角のチャレンジショップに平成 27 年 12 月にオープンした「こぶらすCo+」のオーナーをご紹介します。



人と物が集まる店 「こぶらす Co+」

「こぶらすCo+」(日野市多摩平 2-5-1 クレヴィア豊田多摩平の森 1階、OPEN 10:00 - 19:00 木曜定休)は、見た目は雑貨屋さんのように見えますが、「女性起業家支援」「情報交換と発信の拠点」「空き家・空き部屋の相談窓口」として、まちの皆さんに気軽に立ち寄りもらえる場所になりたいと思っています。

日野市で頑張る女性たちを応援

「こぶらす」は、起業を目指す女性や家庭と両立しながら事業をしている女性たちが、将来、自分のお店を持てるようになるために、店舗での経験やお客さまとのやりとりの中から何かを学んでもらえる場をつくっています。

異なる業種の方の商品・サービスを扱っていることから、洋服、アクセサリーから健康グッズ、食品などの販売、着物のリメイク、空き家・空き部屋の相談と様々で、そこがちょっと面白いお店です。商品には手づくりのものが半分以上を占め、一点ものこだわりのオリジナル商品が多いことも特徴です。また、物づくりワークショップや体験教室、民泊セミナー(※)、女性の起業相談なども開催しています。

今後は、異業種の出会いからそれぞれの強みを活かしつつ、日野を一躍有名にするような新しい商品やサービスを生み出すことができると考えています。



※「民泊」=旅行者などが一般の民家に宿泊すること。空き家や空き部屋の有効活用法として注目されている。

Uターンして気付いた日野の魅力



2年程前に子ども時代を過ごしたこの日野市に戻ってきました。その時、初めて日野市の魅力に気づきました。水の湧く場所、蛍の生息する場所、クワガタ捕りができる場所が残り、山や川、畑があり、町の風景に水路がある自然豊かな町で、観光資源になり得るものがたくさんあります。日野市に住む人から「日野にはこれと言って何もない」という声を時々耳にすることがありますが、当たり前の光景になっているだけで、それらはすべて日野市の大きな財産だと思います。

日野の魅力と価値を多くの人に伝えていくためにも、こぶらすを情報発信の場に、空き家・空き部屋の有効活用法の一つとして民泊を地域で増やしながらか外からの人にも日野を楽しんでもらえるような地域づくりをしていければと考えています。住む人が自慢したくなる町になれる要素を持った町、それが日野市だと実感しています。

(文・写真=あれいすと代表にぶらすオーナー 壺井あゆみ)

豊田団地自治会 ~ふれあいづくりのしくみづくり~

豊田団地は約 300 世帯が住む一戸建ての団地です。約 50 年前に結成され、加入率は 90%以上、結成時から住む高齢者世帯が 55%、団地で育った 2 世と新たに住んだ若者世帯が 45%で構成されています。

豊田団地の活動方針は、「みんなが気楽に参加できる行事や、子どもから高齢者の方まで地域でふれあう行事を開催し、人と人とのふれあいから地域のつながりを強くする」です。

しかし、自治会役員が任期 1 年ごとの輪番制のため、行事を開催することが困難でした。

そこで、地域のつながりを強くする行事を継続して実施できるようにするため、自治会の下部組織として「**行事専門委員会**」を設立し、平成 23 年度から活動しています。

行事専門委員会のメンバーは固定で、行事計画と予算と一緒に毎年自治会で承認されています。

これから紹介する行事は、行事専門委員会が立案し、自治会の承認を受け、住民の協力を得ることで開催しています。

夕涼み会

「夕涼み会」は、自治会と子ども会が協力しあって開催しています。

自治会と子ども会で担当を明確にし、「子どもから高齢者まで参加できる夕涼み会」に変えて開催しています。

自治会は、親子、友達、孫と祖父母等が座って雑談できるように道路上に設営した「雑談スペース」を担当します。

子ども会は、「模擬店」と「出し物」を担当します。

会場の設営は、子ども会の OB 主体で「実行委員会」を立ち上げ担当してもらっています。

「自主防災会」も、自家発電機の訓練を兼ね、会場の照明に参加しています。

特に、雑談スペースと子どもたちのヒップホップダンスが好評です。



コミュニケーション展

「コミュニケーション展」は、西平山地区センターを会場とし、住民と子ども会から、工芸、手芸、絵画、書道、写真、作品等を出品してもらい、開催しています。

展覧会は、作品を見るだけでなく、会場内に座席を設け、お茶を飲みながらお互いの親交を深めています。



ふれあいコンサート

「ふれあいコンサート」は、豊田団地住民の演奏家の協力を得て、西平山地区センターでコンサートを開いています。

演奏家に楽器を持ち込んでもらい、親しみやすい曲を演奏してもらいます。アンコール曲は、演奏家と会場の人たちがふれあえるよう、会場からリクエストを募り、演奏してもらいます。



(文・写真=豊田団地自治会 会長種田幸一、加藤 昭)